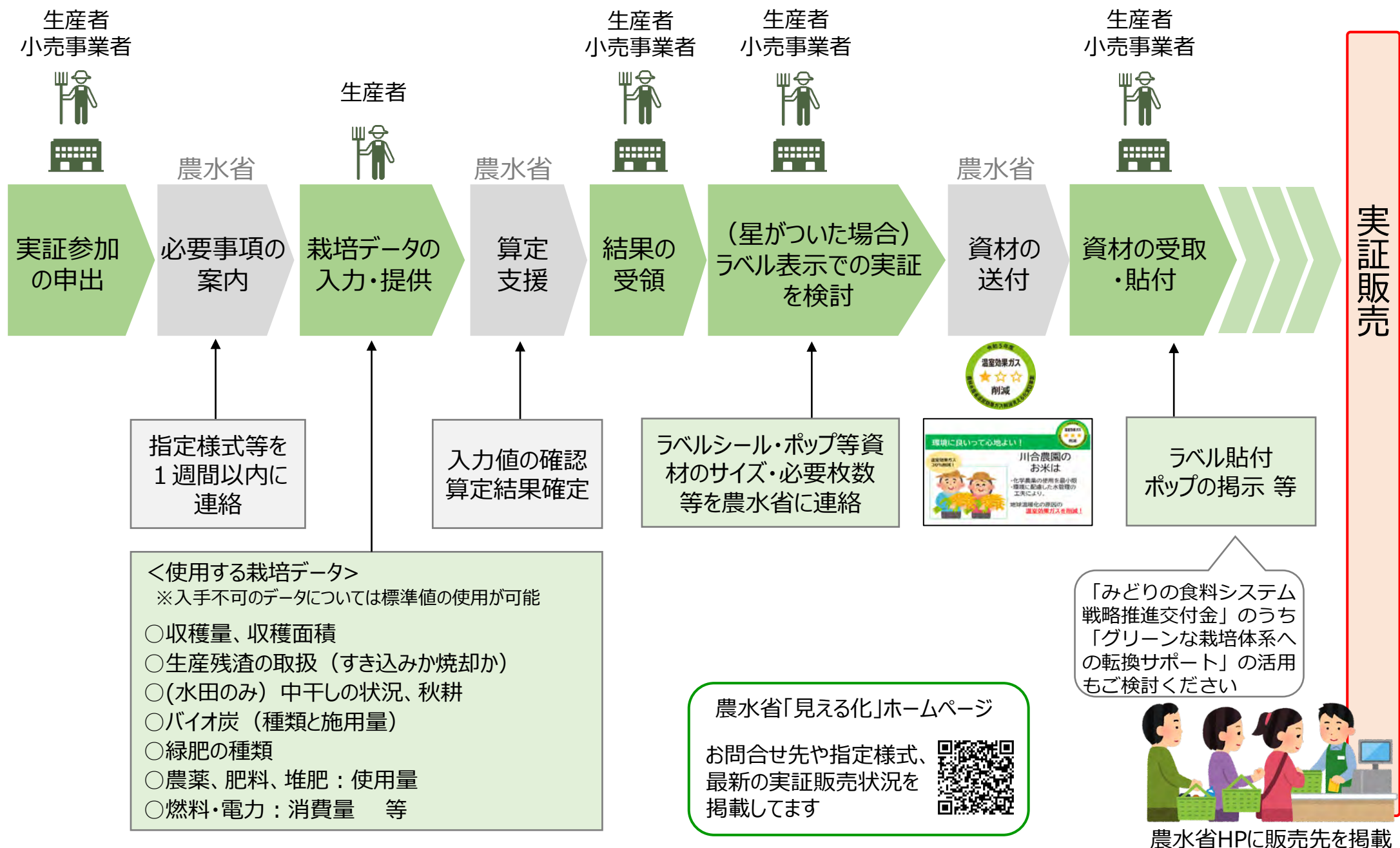


(参考) 今年度の見える化実証事業の報告

「見える化」実証の流れ



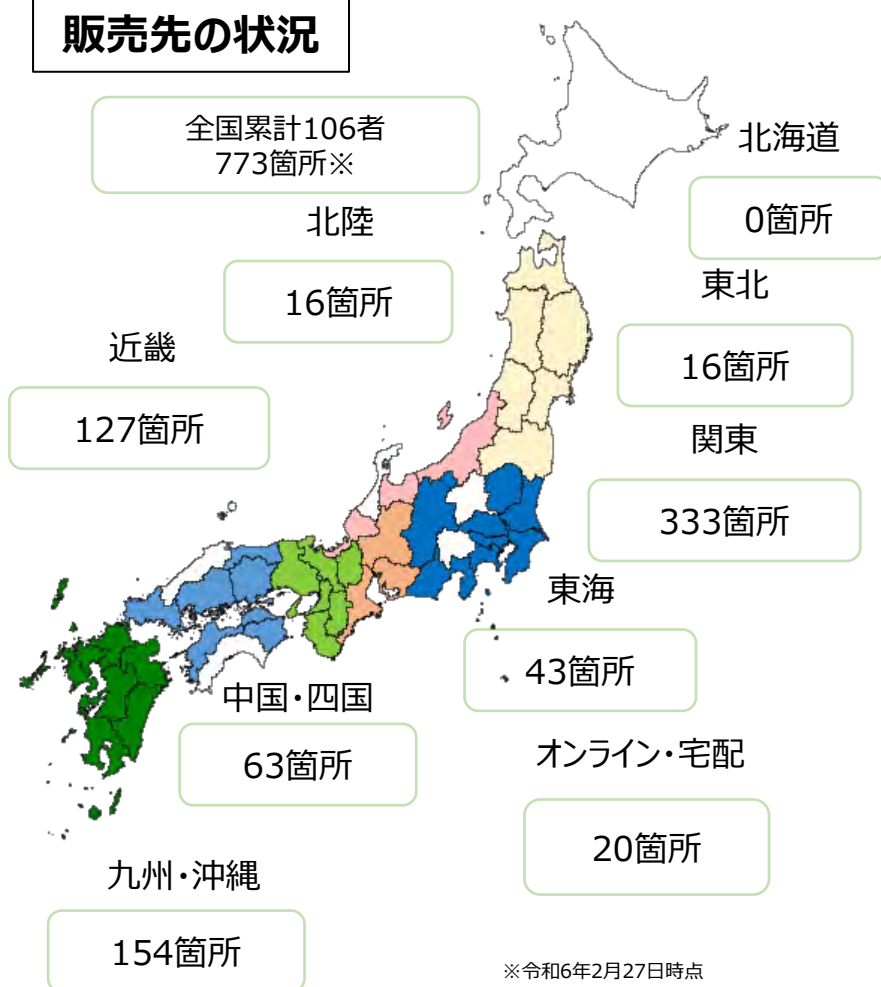
令和4年度・令和5年度の「見える化」実証の状況について



- 令和5年度は対象品目を23品目に拡大。
- 令和4年度の実証開始以降、実証参加者は着実に増加（累計773箇所・106名・団体令和6年2月27日時点）。
- 取組が外食、加工品等の多様な業態にも広がりつつあるだけでなく、メディアの関心も高まった。

対象品目：コメ、トマト、キュウリ、ミニトマト、ナス、ほうれん草、白ネギ、玉ねぎ、白菜、ばれいしょ、かんしょ、キャベツ、レタス、大根、にんじん、アスパラガス、リンゴ、みかん、ぶどう、日本なし、もも、いちご、茶（赤字は今年度より対象となった品目）

販売先の状況



生産者の参加状況



メディアへの掲載

- ・令和5年5月10日 日本経済新聞「食品のCO₂削減 見える化」
- ・令和5年6月26日 朝日新聞デジタル「脱炭素をコメの付加価値に」
- ・令和5年9月14日 NHK福井放送局「JA越前たけふ生産のコメ 温室効果ガス削減で最高評価に」
- ・令和5年11月1日 テレビ東京「WBS（ワールドビジネスサテライト）」
- ・令和5年12月1日 産経新聞「「知っ得ニュース記事#サステナアクション」」
- ・令和5年12月10日 東京メトロ フリーペーパー「メトロポリターナ12月号」

ほか

「見える化」の広がり（事例）

○ 幅広い店舗展開や販売網を生かし、「見える化」が消費者の目に触れる機会を拡大した好事例。

モスバーガー（広島）：外食

- ・有機物主体の肥料の活用と減農薬栽培を行うレタス生産者（（株）鈴生）からモスバーガーに働きかけがあり、実証が実現。
- ・広島県内全店舗（32店舗）で「見える化」レタスを使用した商品を販売。（令和5年10月23日時点）



おむすび権米衛（東京ほか）：外食

- ・外食事業者側から契約生産者（秋田、福島、茨城、栃木の7生産者）に働きかけて実証が実現。
- ・東京、千葉、神奈川、埼玉の計23店舗で実証を実施（農林水産省店でも9月より実証開始）。



ワタミグループ（全国）：居酒屋

- ・全国展開する居酒屋230店舗において、自社グループ農場で有機農業で栽培した、かんしょを使用したメニューの実証販売を実施。

【ミライザカ】



有機サツマイモのスティックフライ

【三代目 鳥メロ】



有機さつま芋 あんに団

【使用メニュー一例】



有機サツマイモと豚バラの旨辛韓国風炒め



有機サツマイモのチーズ焼き



有機サツマイモのポトモ、あんこあんぱん

【和民こだわりのれん街】



有機さつま芋 ホ子餅 シェェーバター・流し〜



有機サツマイモのスティックフライ



ミツハシライス（神奈川ほか）：米穀類卸売業

- ・契約生産者の栽培情報を入手して「見える化」に取り組み、外食、生活雑貨店、小売店で販売。

■ 食品・生活雑貨専門店 （AKOMEYA TOKYO）

NEWoMan新宿等において「見える化」のお米を販売。



■ 定食屋 （GOHANYA'GOHAN）

みなとみらい店において「見える化」のお米を提供。



「見える化」の広がり（事例）

○ 事業者自らによるSNSの活用や売り場の工夫を通じ、消費者に対して印象的な「見える化」の訴求を行った好事例。

東武ストア（東京ほか）：スーパー

- ・首都圏を中心に店舗展開する大手スーパー。東京、埼玉、千葉の計11店舗で実証を実施。
- ・事業者自ら、店舗やSNSにおいて「見える化」の訴求を工夫。

【東武ストア勝どき店の販売状況】

【SNS（X）での訴求】



【公式】株式会社東武ストア @...・20時間
【店舗限定】
本日より、農林水産省が推進する「みどりの食料システム戦略」の基準をクリアした『山梨県産 シャインマスカット』を期間限定で販売します！

「温室効果ガス削減の見える化」ラベルが目印！
”温室効果ガスを減らすおかいもの”にぜひご協力ください🌱

#東武ストア



🗨️ 1 🔄 1 ❤️ 19 📊 414 🔗

バイオセボン（東京ほか）：スーパー

- ・東京・神奈川の店舗と全国発送のオンラインストアを展開する、フランス発のオーガニック・スーパーマーケット。
- ・事業者自ら、SNSにおいて「見える化」やみどりの食料システム戦略について発信。

【SNS（Instagram）での訴求】



イトーヨーカドー（東京ほか）：スーパー

- ・首都圏を中心に全国展開する大手スーパー。東京都内6店舗で実証を実施。

イトーヨーカドー
1月11日 18:00・📍

＼#ヨーカドーのサステナアクション／🌱

- ・東京都内の生産者は、これまでの実証で初の事例。

セブンファーム東京(立川)平野さんの「まうれん草」が環境負荷低減の取組みにより、令和5年度温室効果ガス削減見える化実証事業において最高ランクの3つ星を獲得🌟...さらに表示

- ・事業者自ら、店舗やSNSにおいて「見える化」を発信。



【SNS（X）での訴求】

👍 「いいね！」

💬 コメントする

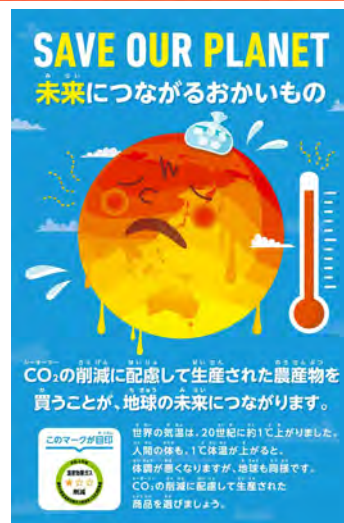
「見える化」の広がり（事例）

○ 事業者が主導して、多品目でラベル表示を行い、消費者に対して継続的に「見える化」の訴求を行った好事例。

イオン九州（福岡ほか）：スーパー

- ・九州地方の系列スーパーマーケット64店舗でトマト、ミニトマト、かんしょの実証販売を実施。
- ・事業者自らがPOPを作成し、消費者に「見える化」をわかりやすく訴求。

【販売の状況】



サンプラザ（大阪）：スーパー

- ・地域の産品を多く取り扱う大阪の地域密着型スーパー。
- ・小売事業者側から取引のある生産者に積極的に働きかけ。
- ・大阪府、奈良県の全36店舗でコメ、トマト、キュウリ、玉ねぎ、みかん、大根、かんしょの幅広い品目について、実証を実施。

【販売の状況】



青果売り場の最も目立つスペースに見える化商材を配置